

No	市民クラブ提言	行政対応
	<b>1. ワクチン接種について</b>	
①	コールセンターの対応が良くないとの声がある。忙しい中での対応は大変であると認識をするものの、市民に対しては常に丁寧な対応を心掛けるべき。	
②	ワクチン供給量と年齢別接種者数推移（職域接種・個別病院・集団接種すべて含むもの）、接種会場ごとの接種回数及び予定など、いつワクチンが打てるか市民が予測できる位の情報を「ワクチンメーター」で見える化し、市民に分かりやすく公開するべき。	
③	個別接種は、当面の間「65歳以上の高齢者」及び「基礎疾患のある方」のみとなっているが、接種可能な病院・医院の一覧表が手元にあっても接種の空き状況がわからない。病院・医院ごとの予約可否を見える化するべき。	
	<b>2. 情報提供について</b>	
①	持ち帰りや宅配で飲食店を支援するとともに、人流を減らす効果の見込めるフーデリックスの取り組みが市民に十分に伝わっていない。ポスター掲示やPRチラシ配布についてはショッピングモールなど人が集まる場所に協力を仰ぐとともに、回覧板でのチラシ配布なども加え、積極的な広報を行うべき。	
②	7月以降感染が拡大している若年層に向けた広報として、YouTubeやTwitter、Instagramへの広告などを計画しているが、コンテンツには尾身会長と対談したこともあるやらまいか大使のEXITりんたろーさんを活用するなど、効果の最大化を図るべき。また路線バスの電光掲示板や遠鉄ビジョンの活用に加え、浜松駅や町中を「家族、友人のために感染予防を」「とにかく今は我慢して」といった内容のポスターで埋め尽くし、本当に緊急事態であることを訴えていくべき。	
③	若年層を中心に「この状況で自分が感染したらやばい！」という気持ちにつながるべく、陽性者数、重症者数の公表に加え、宿泊療養、自宅療養の人数も逐次見える化するべき。	
④	塾のクラスターなどでの風評被害や、子供の間で差別が発生しない様、今一度シトラスリボン運動などの訴求に注力するべき。	
	<b>3. その他</b>	
①	療養患者の急増で病床占有率が上昇した際のワーストケースを想定して、酸素投与が必要な自宅療養者用に酸素濃縮器を相当量準備するべき。	
②	飲食店の中には、まん延防止等重点措置でも認められているテイクアウトに活路を見出そうと努力している店舗もある。支援としてポイント還元を通じた店舗支援の早急な実施をすべし。	
③	陽性者の増加が続いている状況から、その対応にあたる保健所ならびに関係機関における人員体制の強化を行うこと。人員が足りていないために遅れが生じたということにならないためにも行政側の対応を強化を急ぐべき。	
④	感染経路不明の方が急増していることを踏まえ、無症状の為感染に気づいていない若年層に対する抗原検査やPCR検査が必要と思われる。昨年浜松市独自で接待を伴う店舗などの検査実績もあることから、今回も市独自の検査体制・予算の検討を行うべき。	
⑤	小中学校の2学期が近づいていることから学校でのクラスター感染を心配する声が多い。特にデルタ株は感染力が強く、家庭内・職場内でのクラスター発生が報道もされているところである。 文部科学省では「新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のためのガイドライン」が策定されており、本市も同様のガイドラインを策定していると思うが、さらなる感染拡大が起きうることを想定して、ガイドラインの見直しと保護者等の関係者への周知を徹底し、安心して2学期が迎えられる体制を取るべき。	
⑥	8月16日の対策本部会議にて報告のあった「静岡県新型コロナウイルス医療専門家会議（8/5 開催）からの提言」については、県の検討期限が8月16日となっており、議事録にもその確認をすることになっている。 医療体制の強化は市民の関心が非常に高いことから、浜松市としても新型コロナウイルス感染症対策の一つとして、県の検討結果を市のホームページ内のリンク先に加えて情報提供するべき。	